

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	増田恒幸
所属機関名	獣医学部獣医学科
職位	准教授
在籍年	1

教育の責任

家畜衛生を専門としており、動物衛生学、動物衛生学実習、動物感染症学、産業動物疾病予防管理学の授業を科目責任者として担当しています。その他、分担としてキャリアスキルアップ研修、総合参加型臨床実習、産業動物臨床実習を担当しており、産業動物に関する科目が主なものとなっています。

教育の理念

- ・安全な畜産物を生産するための家畜衛生行政、飼養衛生管理、家畜防疫を関連法規に基づき理解してもらうこと。
- ・主要な家畜感染症の病因、発病機序、流行、病態生理、診断、治療や予防および家畜防疫の基本的な方策について理解してもらうこと。
- ・実際に感染症の防疫業務に当たった私自身の経験や現場獣医師の講義により感染症から食の安全・安心を守るための獣医師及び獣医関連専門家の業務の重要性を理解してもらうこと。
- ・家畜伝染病予防法などの関連法規は実情に合わせた改正が多いため、現場や行政に獣医師として従事していた経験を活かし、最新の改正情報やその背景を紹介するような講義を実施すること。

教育の方法・方針

実際の家畜生産現場で今何が起き、どのような課題があるのか。これらを実感できなければ、学習への意欲は維持できません。そのため、講義では私自身が経験した症例や疾病対応を具体例として盛り込み、教科書の知識をより実践的なものへと昇華させるよう工夫しています。

また、国内外の畜産に関する最新トピックを取り入れることで、科目の重要性や必要性を多角的に伝えています。受講生の皆さんには、日頃から積極的に関連ニュースに触れ、講義内容とリンクさせることで、より深い理解を得ることを期待しています。

教育の成果

授業アンケートでは、【実際に現場で家畜感染症の防疫対応に参加した教員の話は興味を持てた】【産業動物を扱う科目が少ないので講義を受けて良かった】等の意見がありました。産業動物は心の糧というメッセージを伝えながら産業動物獣医師や獣医関連専門家の仕事について講義をしてきた成果が出ていると考えます。

今後の目標

家畜の飼養衛生管理が多様化・複雑化する中、現場の実情に即した教育を提供するため、農林水産省等の関連組織が主催する勉強会等を通じて最新情報の収集に努めてきます。教育面においては、小動物臨床に関心の高い学生に対しても、公衆衛生や食の安全を担う産業動物獣医師の職責を提示し、当該分野への理解と関心を促す講義構成としていきます。

根拠資料

- ・岡山理科大学ポータルサイトマイログ：授業アンケート
- ・岡山理科大学ポータルサイトマイログ：シラバス